

# 12弟子（12使徒）

**ペトロ**（シモン・ペトロ、ペテロ、ケファ）

漁師、アンデレと兄弟。本名はシモン、イエス様にペトロ（岩）と名づけられる

**アンデレ**

漁師、ペトロと兄弟。X字型の十字架は「アンデレの十字架」と呼ばれる。

**大ヤコブ**（ゼベダイの子ヤコブ）

漁師、ゼベダイの子、ヨハネと兄弟、小ヤコブがいるので大ヤコブと略される

**ヨハネ**

漁師、ゼベダイの子、大ヤコブと兄弟。福音記者

**フィリポ**

ピリポと書かれることもある

**バルトロマイ**（ナタナエル？）

フィリポにイエスを紹介してもらった、ヨハネによる福音書だと、ナタナエル？

**トマス**

疑い深くてはじめはイエス様の復活を信じなかった。ディディモとも呼ばれる

**マタイ**

元ローマ帝国の徴税人、別名アルファイの子レビとも呼ばれる。福音記者

**小ヤコブ**（アルファイの子ヤコブ）

マルコ(15:40)から小ヤコブと呼ばれ、クレオパとも呼ばれる。イエス様の従兄弟？

**タダイ**

ルカによる福音だと、ヤコブの子ユダ。聖書にはあまり出てこない

**シモン**

元熱心党（ユダヤ教の政治的宗教集団）の人。聖書にはあまり出てこない

**ユダ**（イスカリオテのユダ）

イエス様を裏切った人。後任はマッテヤがくじで選ばれた

**マタイによる福音書 第10章02～04章**

02 十二使徒の名は次のとおりである。まずペトロと呼ばれるシモンとその兄弟アンデレ、ゼベダイの子ヤコブとその兄弟ヨハネ、

03 フィリポとバルトロマイ、トマスと徴税人のマタイ、アルファイの子ヤコブとタダイ、

04 熱心党のシモン、それにイエスを裏切ったイスカリオテのユダである。

他の福音書：マルコ3章16～19章、ルカ6章13～16章

当時のメシア像は、虐げられていた状態からの解放だった。

イエスが生きていた時代の敵は主にローマ

乱暴に言えばローマを滅亡させローマの支配から解放してくれる事

民を先導しローマに攻撃を仕掛ける王の誕生と言って良いかもしれない。

しかし、イエスはローマに戦争を仕掛ける軍隊を組織したり、ローマを弱体化させるような事は一切しなかった。

それどころか、先人たちから受け継ぎ拠り所である律法由来の風習を非難した

イエスは律法を否定したのではなく、間違った方向に流れてしまっている状態を正して完成させるためだったが、当時の支配階級から見れば到底、許容できるものではなかった。

17 「わたしが来たのは律法や預言者を廃止するためだ」と思ってはならない。廃止するためではなく、完成するためである。

18 はっきり言うておく。すべてのことが実現し、天地が消えうせるまで、律法の文字から一点一画も消え去ることはない。

(マタイ 5:17-18)

ただ、イエスの教えに賛同する者も多く現れた。

支配階級がイエスを陥れようと様々な問答を繰り広げるが、イエスは連戦連勝

親イエス派は主流派ではないにしろ小さい集団でもなかった。

死者を復活させたり、病気をいやしたり、海の上を歩いたりといった奇跡などもあって。

「イエス」＝「神の子」という図式を受け入れる弟子たちが多く集まった。

その「神の子」が死ぬなど考えもしなかったはずで、イエスが死と復活を予告しても真実味が無かったし悲しむことしか出来なかった。

恐らく、十字架に架かっても奇跡をおこして死を逃れると信じていたと推測できる。

それなのに、イエスは十字架で死んだ。この時の弟子たちの疲弊感は相当のものだった。

19 その日、すなわち週の初めの日の夕方、弟子たちはユダヤ人を恐れて、自分たちのいる家の戸に鍵をかけていた。そこへ、イエスが来て真ん中に立ち、「あなたがたに平和があるように」と言われた。

20 そう言って、手とわき腹とをお見せになった。弟子たちは、主を見て喜んだ。

(ヨハネ 20:19-20)

家の戸に鍵をかけ閉じこもっていた。

イエスの仲間だとバレたら次は自分の番である事を知っていたから・・・

## そこに復活したイエスが登場した。

イエスの復活を目の当たりにした弟子たちは  
明らかにその後、言動が変わっていく

## ペトロ (Πέτρος)

本名はシモン (ヘブライ語で「シメオン」シモンの短縮形) (二ペト 1:1)  
イエスによりペトロ (アラム語で「ケファ」岩の断片、石という意味) と呼ばれる  
(ヨハネ 1:42、マタイ 16:18) アンデレの兄弟

パウロと共に二大使徒と呼ばれている。

パウロは割礼を受けていない人々 (異邦人) に対して

ペトロは割礼を受けた人々 (ユダヤ人) に対して福音が任された (ガラ 2:7)

殉教の折、頭を下に向けて逆十字架に架けられて処刑された (ペトロ行伝 37)

ローマカトリックでは最初の教皇

ヨーロッパ諸言語の一般的な男性名

英語「ピーター」 フランス語「ピエール」 イタリア語「ピエトロ」

ドイツ語「ペーター」 ロシア語「ピョートル」

## アンデレ (Ἀνδρέας)

シモン・ペトロの兄弟。 英語「アンドルー」 フランス語「アンドレ」  
ドイツ語「アンドレアス」 ロシア語「アンドレイ」

正教会のコンスタンディヌーポリ総主教庁は初代総主教をアンデレとしている。

ヨハネによる福音書だと、ペトロをイエスの元に連れて行った (ヨハネ 1:41)

5000 人に食べ物にあたえた時、5 つのパンと 2 匹の魚を持っている少年を  
イエスに紹介した。(ヨハネ 6:9)

殉教の折、X 字の十字架で処刑された

## トマス (Θωμάς)

ヘブライ語で「双子」の意味。ディディモ (Δίδυμος) はギリシャ語のあだ名  
英語などではトーマス、短縮形でトム、トミー

ヨハネ 11:16 「一緒に死のうではないか」(ラザロの物語)

ヨハネ 14:5-6 「(前略) その道を知ることができるでしょうか。」

イエス「わたしは道であり、真理であり、命である。(後略)」

ヨハネ 20:24-28 「(前略) わたしは決して信じない。」

イエス「(前略) 信じない者ではなく、信じる者になりなさい。」  
「わたしの主、わたしの神よ」

イエス「(前略) 見ないのに信じる人は、幸いである。」

## ペトロが登場する主な箇所（イエス復活前）

イエスからスカウト（人間をとる漁師にしよう）

マタイ 4:19、マルコ 1:17、ルカ 5:10

水の上を歩かせてください

マタイ 14:28

そのたとえを説明してください

マタイ 15:15

あなたはメシア、生ける神の子です（最初の信仰告白）

マタイ 16:16

あなたはペトロ。わたしはこの岩の上にわたしの教会を建てる

マタイ 16:18

イエスの死と復活の予告に意見する（そんなことがあってはなりません。）

マタイ 16:22

イエスの変容（仮小屋を三つ建てましょう）

マタイ 17:4、マルコ 9:5、ルカ 9:33

神殿税を納める（イエスに確認せず「納めます」と言う）

マタイ 17:24

何回赦すべきでしょうか。七回までですか。

マタイ 18:21

では、わたしたちは何をいただけるのでしょうか。

マタイ 19:27

イエスを捕縛しに来た祭司の手下に剣で右の耳を切り落とす

ヨハネ 18:10

イエスの裏切り予告（三度、知らないと言う）

マタイ 26:34、マルコ 14:30、ルカ 22:34、ヨハネ 13:38

裏切り（イエスを知らないと言う）

マタイ 26:69-75、マルコ 14:66-72、ルカ 22:54-62、ヨハネ 18:25-27

## ペトロが登場する主な箇所（イエス復活後）

ルカ 24:1-12

イエスの復活にはじめに気がついたのは婦人たちだった

使徒たちは婦人たちからの話を信じなかった（ルカ 24:11）が

ペトロはイエスの墓へ走った（ルカ 24:12）

ペトロの証で1日に三千人ほどが仲間になる

使徒 2:40-41

足の不自由な男をいやす

使徒 3:1-10

ペトロとヨハネ、議会で取り調べを受ける

使徒 4:1-22